

平成28年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成28年5月30日）

協議会議事要点録				
会議名	平成28年度 第1回江田島市公共交通協議会			
日時	平成28年5月30日（月）13時15分～14時27分			
場所	江田島市役所2階会議室			
傍聴者	6名			
出席者	県立広島大学	名誉教授	のほら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教授	おかやま まさと 岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役	はすだ つとむ 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	すぎい くみお 杉井 公美雄	○
	広島県旅客船協会	会長	にった いちろう 仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	たにぐち みのる 谷口 実	×
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	×
	江田島市自治会連合会	会長	はまなか しげみ 濱中 繁美	○
	江田島市老人クラブ連合会	会長	ふるもと さねき 古本 眞機	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	なかむら ひろまさ 中村 博政	○
	江田島市女性会連合会	会長	しもだ とよこ 下田 豊子	×
	江田島市観光協会	会長	いとう ふみお 伊藤 富美雄	○
	中国運輸局	海事振興部旅客課長	やない ひろし 柳井 裕志	○
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	かやはら ひろのり 茅原 裕則	代理出席 赤澤 大
	広島県	地域政策局 地域力創造課長	きむら ひろし 木村 洋	代理出席 藤田 順子
	江田島警察署	地域交通課長	やまぐち きよふみ 山口 清文	○
	江田島市	副市長	どて さんせい 土手 三生	○
江田島市	企画部長	わたなべ たかひさ 渡辺 高久	○	
江田島市	土木建築部長	きむら なるひろ 木村 成弘	○	

平成28年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成28年5月30日）

1 開 会	
事 務 局	開会宣言
2 会長あいさつ	
会 長	土手会長あいさつ
3 議長の選任について	
各 委 員	野原委員を平成28年度の議長に選任
4 議 題	
(1) 報告事項	
① 地域公共交通網形成計画について（資料1）	
議 長	最初に報告事項ですが、①の地域公共交通網形成計画につきまして、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	－資料1により説明－
議 長	ただいま、前回協議を行いました地域公共交通網形成計画につきまして説明がありました。これにつきまして、何か御質問あるいは御意見ございましたら、よろしくをお願いします。
各 委 員	（質問・意見等なし）
議 長	それでは、ただいまの報告事項につきましては了解したということで、次に進めさせていただきます。
② 交通魅力アップ事業について（資料2）	
③ 物語の島 江田島×兵姫ストライク スタンプラリーについて（資料3）	
④ 妊婦健康診査交通費等助成事業について（資料4）	
議 長	②の「交通魅力アップ事業」について、それから③の「物語の島 江田島×兵姫ストライク スタンプラリー」について、それから④の「妊婦健康診査交通費等助成事業」について、一括して事務局から報告をお願いします。
事 務 局	－資料2, 3, 4により説明－
議 長	資料2, 3, 4につきまして報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、御意見、御質問等ございましたら、よろしくをお願いします。
各 委 員	（質問・意見等なし）
議 長	なければ、報告事項、全部で4つでございますが、了承したということで、よろしくをお願いします。
(2) 協議事項	
① 規約の一部を改正する規約案について（資料5）	
議 長	江田島市公共交通協議会規約の一部を改正する規約案でございます。どのように変更するのか、事務局から御説明いただきます。よろしくをお願いします。
事 務 局	－資料5により説明－
議 長	3ページのところが主要な改正箇所でございますが、傍線が引いてあります。

平成28年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成28年5月30日）

議長 (つづき)	ただいまの御説明のとおりでございます。これにつきまして、何か御意見、御質問等がございましたら承りたいと思います。いかがでございましょうか。
委員	庁舎が移転した後の会議は、大柿まで行かないといけないのでしょうか。
事務局	基本的には大柿の方でやることになろうかと思えます。市外から来られる方は少し大変になると思いますが、是非公共交通機関を利用していただいて、御出席いただければと思っております。よろしくお願ひします。
議長	次の会議から、大柿町の新庁舎で開くということでございます。委員の皆様方、また関係の皆様方、大変御足労ではございますが、次回会議の際はよろしくお願ひします。他にいかがでしょうか。 それではこの改正は了承されたということで取りまとめさせていただきます。
② 平成27年度決算及び監査報告（資料6）	
議長	平成27年度決算及び監査報告でございます。それでは事務局から御説明よろしくお願ひします。
事務局	－資料6により説明－
議長	それでは、監査委員から、監査報告をよろしくお願ひします。
監査委員	平成27年度江田島市公共交通協議会の歳入、歳出の決算については、諸帳簿及び関係書類等を照合した結果、歳入、歳出とも、適正かつ的確に処理されていると認めます。
議長	ただいま監査委員から報告がございました。これにつきまして何か御質問、御意見がありましたら承りたいと思いますが、いかがでしょうか。
各委員	(質問・意見等なし)
議長	なければ、平成27年度江田島市公共交通協議会決算につきまして、ご了承を得たということで、取りまとめさせていただきます。
③ 平成28年度事業計画・歳入歳出予算（案）について（資料7）	
議長	平成28年度事業計画・歳入歳出予算（案）でございます。事務局から御説明よろしくお願ひします。
事務局	－資料7により説明－
議長	それでは、平成28年度江田島市公共交通協議会歳入歳出予算（案）も含め、御意見あるいは御質問がございましたら賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。今年度はだいぶ減額ということで、予算規模は前年度と比べて縮小したということでございます。いかがでございましょうか。
委員	今年度の歳出予算の方に「地域公共交通網形成計画推進費」として3,148千円ほど計上されております。事業計画の中で言いますと(2)のところ当たると思いますが、その中で全部するというのではなくて、調整しながら出来ることをなさると伺いましたし、特に冒頭、地域の住民の方のための説明会などをされるということ聞いたのですが、それ以外に今、具体的にこの事業は今年度中にできるんじゃないかなとか、したいなといったところ、何か計画がありましたら、お示しいただければと思います。

平成28年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成28年5月30日）

事務局	<p>今言われたとおりです。実際これから関係者の皆さんと協議をしていきながら、出来るところからやっていくということになるのですが、具体的にどんなところが出来るかと想定しているかということですが、ここにつきましては、「目標4観光の強化による利用者の増加」にもありますが、観光客に向けた情報発信力の強化として、公共交通の利用がしやすくなるようなマップの作成について、今年度やりたいと考えております。</p> <p>それから、先ほど言われたとおりですが、地域で実際に市民の皆さんと一緒に考える機会を作りたいということで、去年はシンポジウムをやりましたが、今年もこういった取組みをやっていきたいと考えております。</p>
議長	<p>市民への啓蒙も含めて、事業をやっていきたいということでございます。また、観光客に向けての情報発信の強化もしていきたいということでございます。その他、何かございませんでしょうか。</p> <p>他に質問、意見がございませんようですので、平成28年度の歳入歳出予算につきましては、御了承を得たということで取りまとめさせていただきます。</p>
④ 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について（資料8-1, 8-2）	
議長	<p>地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請につきまして、これも事務局によりしく願います。</p>
事務局	<p>－資料8-1, 8-2により説明－</p>
議長	<p>それでは、ただいまの説明につきまして、何か御質問あるいは御意見がありましたら、承りたいと思います。いかがでございましょうか。</p>
委員	<p>結果的にはこのタクシー会社の3社になろうかと思うのですが、ここへ3社の名前を記載する方がいいのかどうか。と言いますのが、運行事業者としてこの3社に決めるときの根拠みたいな形のを、はっきり備考欄くらいに書いておくか、何かそういう方がいいのかなという感じなんですけれども。</p> <p>例えばバスと言えば江田島バスしかないわけですし、必然的に江田島バスという格好になるかもしれませんが、タクシー会社はまだ他にありますので。実際には広島県タクシー協会江能支部というのがこちらの方であって、支部との協議でこの3社に決められた経緯があるのですが、そのところが分からないと。</p> <p>これはどうしても、こうしてくださいということではないのですが、しっかり説明がつけばよろしいですけれども。</p>
事務局	<p>3枚めくっていただいたところの一番下の5のところですが、業者の名称ということで、江田島タクシー、三高タクシー、能美タクシーと書いておりますが、どのような経緯で事業者が決まったかということまでは言及しておりません。</p>
委員	<p>「要綱〇〇による」とか、元の部分をちょっと付け加えれば良いと思います。</p>
事務局	<p>そのように表記させていただきます。</p>
議長	<p>それでは表記の方を、事務局でよろしく願います。他に何かございませんか。挙手をお願いします。それでは資料8-1の方だけ表記をよろしく願います。地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請につきましては、御了解を得たということで、取りまとめさせていただきます。</p>

5 その他	
議長	<p>本日皆様方のお席のところに、江田島汽船及び瀬戸内シーラインの合併につきまして、文書が出ております。運航事業者の方から説明していただこうと思っておりますので、御説明のほどよろしく申し上げます。</p>
委員 (運航事業者)	<p>私が瀬戸内シーラインと江田島汽船、両方とも代表を務めておりますので、ひとつ御報告させていただこうと思っております。</p> <p>三高～宇品の航路につきましては、平成24年、芸備商船が廃止されて以来、1日も休むことなく同じような形で、江田島汽船として航路を引き継いできたわけですが、第2音戸大橋ができたり、なかなか厳しい状況にありまして、1つの航路を1つの会社でやっていくには荷が重すぎるということで、他の航路もやっておりますシーラインと合併して、この航路を合理化といいますか、経営の効率化を図っていきたいということで、平成28年10月1日をもって江田島汽船を廃止して、瀬戸内シーラインとして三高の航路をやっていただくということにしましたので、御報告でございます。</p> <p>これにはいろいろバックグラウンドがあるのですが、元々この西航路というのは、市営でやられていました高速船の航路、それとフェリーの航路、どちらもなかなか経営が難しいということで、元々この協議会では西回り航路の再々編ということで取り組んできたのでございます。高速船の航路、それとフェリー、これがお互いに3つの港でやっているわけですが、これを1つのものとしてお互い協力し合いながら、バスでの接続をしたり、回数券や定期券の共通化とかですね、いろんなアイデアを出しながらやっていくことで、将来的に持続可能な航路として仕上げていきたいというのが、元々の発端でございます。</p> <p>ただ、今のところ、市営の航路が民営化したというところで止まっておりまして、今後はそんな方向へ向かっていろいろ知恵を出しながら、末永く存続できるような方向も事業者として模索していきたいと思っておりますので、また利用者の皆さんも、協議会の皆さんも、そういうところにも視点を置いて、今後の協議を進めていただければと思っております。</p>
議長	<p>そこにも書いてありますとおり、便数・運賃・ダイヤの変更は行われないうことで、従来どおりということでございます。何か御意見があれば。</p>
委員	<p>三高航路を利用する方が減少して赤字になり、これを解消するためにグループ内で一緒になってやるということだと思っておりますが、この中身で、赤字がどのくらいになっているか、数値的に表記していただければ皆さんもはっきりと分かる。ただ、赤字経営であるというだけでは、ちょっと中身が不足ではないかと私は思うんです。できれば、毎年これくらいであるとか、出してもらえないか。この航路に対しては、県と江田島市が補助金を出していると思うのですが、そういう観点からしても、やはりこの辺りを一言お願いしたい。</p> <p>もう1点、事務局に聞きたいのですが、合併したら名前が瀬戸内シーラインになり、江田島汽船から名前が変わりますよね。そうした場合には、市と県が補助金を出しているのが、このままでも継続できるのか、その辺りをお聞きしたい。</p>

平成28年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成28年5月30日）

議 長	<p>それでは、赤字の部分、それから江田島市の補てんの部分、合併後の市と県の問題、質問が出ておりますので、事務局よろしくお願ひします。</p>
事 務 局	<p>こちらからは補助金についてお答えしようと思うのですが、県との協調補助で県の制度に乗っかってやっているんですけど、この会社形態が変わることによって、補助対象航路から外れることはないと聞いておりますので、その辺は大丈夫だと思います。</p> <p>あとは、経営状況についてはどうかというのは、事業者がどうお考えになるかというのが大きいと思うんですけども。</p>
委 員 (運航事業者)	<p>三高～宇品の航路については、補助航路なんですね。ですから江田島市、県、それから広島市も含めて、補助をいただいております。ただ、これは補助をいただくに当たってのいろんなルールがありまして、全額を賄ってもらえるわけではないんですね。ということで、補助金で賄いきれないところが赤字として会社に溜まってきているという状態であります。</p> <p>これについては補助をもらう時に市の方へも報告しているのですが、当初、芸備商船が破たんしたときに、全く穴を空けずにやるということで、相当無理をしております。そういうのも含めて数千万単位で累積の赤字が溜まっているということです。具体的な金額については差し控えさせていただこうと思うのですが、1つの会社になることで経営効率を高めていこうと思っております。</p>
議 長	<p>数千万の赤字の部分が残っている、累積されているということでございます。他に何か御質問等はございますでしょうか。</p>
委 員	<p>すみません、この合併の関係ではなくて、先ほどの確保維持改善計画の関係でちょっと言いそびれたのですが、先ほどの事業者の選定方法については、補助金の交付要綱にこういうふうに事業者を選定してくださいと決められておまして、それから外れますと補助金の対象がどうかという話になってくるので、そこはまた事務局と調整させてもらえればと思います。</p> <p>もう1点、これも結果の話ですが、3系統の収支率の平成27年度が12.11%となっているのですが、こっちでざっと計算したら16%くらいになるのではないかと思います。また数値だけの話だと思うので、教えてもらえればと思います。</p>
議 長	<p>事務局とまた相談をしまして、改善すべきところを改善したいということでございますが、事務局の方から、ただいまの質問につきましてお答え願ひします。</p>
事 務 局	<p>事業者選定につきましては、言われたとおり、運輸支局と相談しながら記入させていただきます。</p> <p>収支率の話がございましたが、まず大前提としまして、年度の考え方の違いと算出方法の違いというのがあります。</p> <p>年度の違いですが、今回こちらに書いておりますものが、市の会計年度であります4月1日から3月31日までの数値をあげております。これに対して、運輸支局が把握されているのが交付申請を行ったときの数値と思いますが、交付要綱に示されているとおり、10月1日から翌9月30日までの数値をあげております。</p> <p>また算出方法の違いとしては、人件費の計算方法が大きく違う点で、市の出した数字は委託契約の際の日額単価によるものですが、交付申請の場合はタクシー</p>

平成28年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成28年5月30日）

<p>事務局 (つづき)</p>	<p>事業との按分数値という形で計算を出しておりますので、若干こちらが少なめになっているというのが1つと、事業報告では燃料油脂費を加えているのですが、これは公共交通協議会で直接払いをしておりますので、交付申請時には江田島タクシーと能美タクシーについてはこの計上がない、それにより費用が少なくなり、結果的に収支率が、交付申請の時の方が高くなっているという形で、違いが出ております。</p>
<p>議長</p>	<p>それではそれを是非またお話しをしていただければと思います。他には何か御質問、御意見はございませんでしょうか。 それでは、事務局の方から、その他のことにつきまして、何か付け足すことはございませんか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありません。</p>
<p>6 閉会</p>	
<p>議長</p>	<p>それでは、以上をもちまして、本日の協議会を閉じさせていただきますが、この際言っておきたいこととか、ございませんでしょうか。 なければ今日はこれで閉会させていただきます。今日は長時間、ありがとうございました。</p>